

仙台白百合学園 学園報

Sendai
Shirayuri Gakuen
Campus Report

Vol.107

仙台市泉区紫山1-2-1
幼稚園:(022)777-6777
小学校:(022)777-3777
中学校:(022)777-5777

令和4年
12月15日発行

<http://www.sendaishirayuri.net/>

主ご自身があなたがたにしるしを与えられる。
見よ、おとめが身ごもって男の子を産み、
その名をインマヌエルと呼ぶ。
(イザヤ書7:14)

Merry Christmas

I heartily send all good Christmas
wishes to you and your family.

仙台白百合学園

2023年度 園児・児童・生徒募集のご案内

詳細は学園ホームページをご覧ください。

幼稚園

Kindergarten

お問い合わせ・連絡先

TEL:022-777-6777
E-mail:kinder-info@sendaishirayuri.net
https://kd.sendaishirayuri.net/

ロンちゃんBlogも
ご覧ください。



ロンちゃんブログ



お知らせ

引き続き転入や入園に関しては受け付けておりますのでお問い合わせ下さい。

小学校

Elementary school

お問い合わせ・連絡先

〒981-3205 仙台市泉区紫山1-2-1
TEL:777-3777
FAX:777-3778
https://el.sendaishirayuri.net/

お知らせ

- 第1学年
女子70名(併設幼稚園の入学者を含む)
- 新1年生の入学願書、受け付けております。
※他学年の転入に関しては、随時受け付けて
おります。
- 必要書類及び検定料を小学校受付に
提出してください。
※本校指定の入学願書



中学・ 高等学校

Junior &
Senior High School

お問い合わせ・連絡先

TEL:022-777-5777
https://jh.sendaishirayuri.net/

仙台白百合学園

中学校

入試日

2023年1月5日(木) ●120名

募集人員

いずれか1つに出願してください。

- (午前)一般入試 …… 国語・算数・面接
- (午後)算数入試 …… 算数総合問題・面接
- (午後)英語入試 …… 日本語作文・英語
口頭試問・面接

【一般入試特典】

英検または数検3級以上保持者は国語・算数の
高い方の点数に100点を加えます。

高等学校・全日制

入試日

● 推薦入試
2023年1月11日(水)
専願型:作文・面接
公立併願型:書類選考

● A日程
2023年1月31日(火) } 専願・一般:
● B日程
2023年2月2日(木) } 国語・数学・英語
(専願は面接あり)

募集人員

● 225名



エンカレッジコース

高等学校 通信制課程

Encourage Course

お問い合わせ・連絡先

TEL:022-777-6625

白百合エンカレッジ

※編入学・転入学は随時受け付けます。

4月生募集人員

- 女子 80名
- 対象
宮城県、神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県、新潟県、
福島県、山形県、岩手県、秋田県、青森県、北海道
に在住する方

出願期間

第I期 2022年12月1日(木)~2023年1月20日(金) 第I期 2023年2月1日(水)・2日(木) ※いずれか1日
第II期 2023年2月21日(火)~2023年3月7日(火) 第II期 2023年3月15日(水)

入学考査

カトリック3校共同企画 ロザリオリレー



高校3年 青山 歩乃歌
仙台白百合学園・聖ドミニコ学院・聖ウルスラ学院英智のカトリック3校が十月のロザリオの月に合わせてリレー形式で

祈りを捧げました。本校では十月二十四日から朝礼のお祈りの際に、戦禍の中にあるウクライナ、ロシアの人々のためにロザリオの祈りを唱えました。全校で心を込めてロザリオの祈りをすることは初めてのことでしたのでとても良い機会になりました。

十一月五日には、ロザリオリレーのまとめとなるカトリック三校合同ミサが元寺小路教会で行われ、わたしは奉納係りを務めました。一人ひとりが授業時に書いたウクライナ・ロシアの方々への祈りの花環を平和が実現出来ますようにとお祈りしながら捧げました。ミサでは神父様からの祝福をいただき、ミサ後には三校の交流会も行われ、カトリック校の絆を深めることができました。



みやぎ私学フェア 宮城私学振興大会



仙台白百合学園高等学校 生徒会長
高校3年 熱海 由伊

今年もみやぎ私学フェアに参加しました。そもそも私学フェアとは、地域の皆様に私立学校の魅力を伝えたいという熱い思いを持った代表生徒が集まり、学校同士で協力して発信を行っています。今年度も感染症対策のため、他校の生徒と対面でのミーティングを行うことはできませんでしたが、オンラインで話し合いを重ね、マーブルロードおおまち商店街空中ステージで各校の生徒が作成した動画を放映しました。作成にあたり、様々な場面で白百合生の明るくフレッシュな姿やキャンパスの美しさに触れることができ、学校の魅力に気付きながら楽しく撮影、編集を行うことができました。

また、宮城私学振興大会では私学フェア参加校のうちの代表三校が学校紹介をする時間が設けられ、仙台白百合学園高校の魅力について話す機会をいただきました。当日は多くの国会議員の皆様や保護者の方に本学園の魅力を精一杯伝えて参りました。

これからも魅力詰まったこの学園での生活がより豊かで鮮やかなものとなるように願っています。



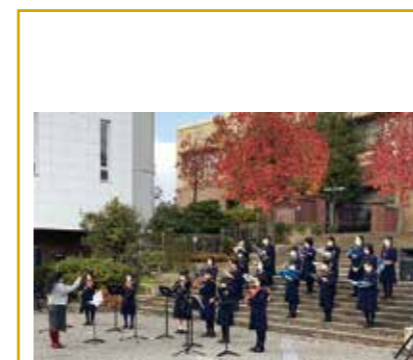
二〇二一年十一月八日に仙台教区の司教に任命されてから、私が初めて仙台を訪れたのは、クリスマスの二日後でした。それ以前は、二〇一七年以降ずっと東京で司祭として奉仕していました。仙台に到着したのは夕方でした。何日か前に雪と雨が降ったので、カテドラルに到着したときは、寒くて暗かったです。例年通り、カテドラルのガラス

祭として奉仕している時でした。私は一九九〇年に来日しましたが、二〇一一年三月十一日まで、東北の市町村に足を踏み入れたことがありませんでした。しかし、司教となったこれからは、青森県、岩手県、宮城県、福島県を管轄する仙台教区が私の故郷になるのです。二〇一一年に話を戻します。東日本大震災後、私は被災地でボランティア活動をする日本人や外国人のグループ

二〇一一年のクリスマスを東北で過ごしたわけではありませんが、その年のクリスマスの数日前、ある被災地の街で見た光景が印象に残っています。幸運なことに、その光景を写真に収めてくれた人がいました(どのメルマガからコピーしたかは覚えていません)。カトリック釜石教会の鐘楼に飾られたクリスマスイルミネーションです。鐘楼の上にあるその星は、教会の周囲に光を放っていました。輝いていたこのクリスマスデコレーションを見た多く



「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。あなたは深い喜びと大きな楽しみをお与えになり、人々は御前に喜び祝った。」(イザヤ書9章1節-2節) イエス、キリストはこの聖書の言葉を表現されました。イエスは貧しい人や疎外された人々を大切にしました。このような人々たちにとってイエスは光でした。人の表情、言葉、行いからは光が発せられるものです。クリスマスも、それから続いていく普通の毎日も、イエスが私たちにしてくださいるように、私たちがちょっとした光になることができますように。



今年も秋晴れに恵まれて、「紫山ワクワク手作り市」が慰めの広場にて開催されました。今年で三回目となるこのイベントは地域と学園との連携を目的として行われ、加美町の産直野菜やハンドメイド雑貨の販売など十以上の出店があり賑わいを見せていました。小学生による合唱・弦楽クラブ、アンサンブル、チャダンスパフォーマンス、中高オーケストラアンサンブルなどの発表は、澄み渡る秋風に乘って学園中に響き渡り、とても素敵な時間となりました。

十一月五日(土)
紫山ワクワク
手づくり市3

エンジョイ・クラシックに参加して ~人に力を届ける音楽に向き合い~



第二十四代団長 高校2年 馬渡 弥々子

今年、中高オーケストラは毎年行う定期演奏会の他に、仙台フィルハーモニー管弦楽団の皆様とコンサートを開かせていただく機会に恵まれ大変充実した年になりました。

仙台フィル管弦楽団の方々と一緒に演奏することが決まった、と顧問の先生から伝えられた時は驚き隠せず演奏について行けるか不安でした。演奏する曲目は今年の夏に定期演奏会で弾いたグリーグ作曲ペールギュントやホルベルク組曲などでしたが、プロの演奏に加わらせていただくという意識を持ちながら再度練習に励みました。また、コロナ禍のため合奏できる機会が少なく、団員それぞれが基礎練習や講師の先生のレッスンを通して、良い演奏に近づけるように頑張ってきました。

仙台フィルのコンサートマスターの西本さんを初め、他先生方から来校いただき事前練習を行った際には、演奏するときはその曲が作られた背景や作曲家の想いを想像しながら演奏する大切さを学びました。フィンランドの作曲家シベリウスの楽曲をご指導いただいた際には、弦楽器のピッチカートや「湖を魚が跳ねる音」、宮廷音楽では管楽器の音を「ケーキを飾る生クリーム」と表現して教えてください、実際にそれらを想像して演奏することで音が格段に良くなったことを実感しました。

コンサート当日、曲は定演で演奏したものと同じなのに響きの豊かさや会場に広がる空気感に圧倒され、本当に貴重な経験をさせていただけたと感じています。このチャリティコンサートには多くの方がいらして、私たちの演奏が誰かを助ける力になるのだという喜びを感じる機会となりました。これからも皆様に感動をお届けできるように演奏を目指していきたいです。



クリスマスメッセージ

クリスマスのイルミネーション

カトリック仙台教区教区長
ガクタン エドガル



窓には、有名な絵画の複製が飾られていました。その絵から放たれる光は、私を感じた寒さと暗さを吹き飛ばしてくれました。

数分後には、私は仙台教区の神父たちと一緒に部屋の中にいました。彼らも私もクリスマスやその前後はミサの司式で忙しかつたのですが、ようやくクリスマスが落ちて祝えるようになったのでした。

私はかつて二〇一四、二〇一五、二〇一六年の三回、東北でクリスマスを過ごしたことがあります。岩手県大船渡市にあるカトリック大船渡教会の司祭として奉仕している時でした。

二〇一一年のクリスマスを東北で過ごしたわけではありませんが、その年のクリスマスの数日前、ある被災地の街で見た光景が印象に残っています。幸運なことに、その光景を写真に収めてくれた人がいました(どのメルマガからコピーしたかは覚えていません)。

カトリック釜石教会の鐘楼に飾られたクリスマスイルミネーションです。鐘楼の上にあるその星は、教会の周囲に光を放っていました。輝いていたこのクリスマスデコレーションを見た多く



の人が、心の闇を払拭されたに違いありません。クリスマスイブのミサで読まれる聖書の一節に、次のような言葉があります。

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見、死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。あなたは深い喜びと大きな楽しみをお与えになり、人々は御前に喜び祝った。」(イザヤ書9章1節-2節)

イエス、キリストはこの聖書の言葉を表現されました。イエスは貧しい人や疎外された人々を大切にしました。このような人々たちにとってイエスは光でした。

人の表情、言葉、行いからは光が発せられるものです。クリスマスも、それから続いていく普通の毎日も、イエスが私たちにしてくださいるように、私たちがちょっとした光になることができますように。



① いつも、せんとくものをたたんでい
るよ。せんとくものおはなのいい
かおりがすきな。

② 「ごうたんの「Nativity」
がすきです。きりえがとてもきれい
で、ひらくと、とびだすところもお
きにいらいます。」

(やとう うるは)

① フワフワのTシャツをたたむのがす
きだよ。きれいにたたむとママとパ
パがよろこぶよ。

② 「しらゆきひめ」です。七人のこ
びとさんとあそびたいから、しらゆ
きひめになりたいの。きれいなドレス
もすてき。

(かやば さつき)

① ぼくがいちばんにおきるから、ママ
をおこすよ。ママのあやこはんが
おいて、げんきになるよ。

② かいけつゾロリの「きょうふのちよ
うとつきゅう」だよ。さんだんじゅ
うのおべんとうがおいしそうで、た
べてみたいんだ。

(いちかわ はるま)

① せんせいのおてつだいがだいすきで
す。よこんでもらえて、みんな
えがおになると、うれしね。

② ひつじやロボのからだがあつあつで
さわられるから、
「The Nativity」がすき。
クリスマスのほんだよ。イエスマ
まがかわいい。

(いしかわ ちい)

① きゆうりをきるおてつだいがすき。
ほうちゅうでじょうずにきれるか
キドキするの。きゆうりをきると
おとうとがよろこんでくれるんだ
よ。

② 『おしこちよつぱりもれたろう』
がおもしろいよ。おふるにはいつた
あとにママとよんでいるんだ。

(やとう にいな)

① おにいちゃんのおやくにんいっしゅ
のおてつだいは、はらいのれんしゅ
をいっしょにするんだ。がんばっている
おにいちゃん、かっこいいんだよ。

② まいせんシスターズのほんがすきな
んだ。よみながらマイクラフトで
どんなものをつくらうかかんがえる
のがたのしいよ。

(きんぼら しゅうすけ)

年長児にインタビュー

01 お手伝い大好き!
02 お気に入りの絵本



① リボンむすびがじょうずになったか
ら、みんなのエプロンをむすんでい
るよ。よこんでくるとうれし
ね。

② あかちゃんがカワイイから「もふも
ふどうぶつあかちゃん」がおきに
いらいます。どうぶつをギョッとす
るのはこわいけど、みるのはすきで
す。」

(まじむら めいな)

① わたしからだよ、おおいふと
んをたたんでいよ。ホカホカでき
もちいの。

② 「あさひやまどうぶつえん」だよ。
どうぶつのしゃしんがいっぱいな
の。どうぶつのなかではパンダがい
ちばんすき。

(つづき ちはな)

① ちいさいおともだちのおてつだいが
すきです。おきがえをいっしょにす
るよ。

② 「ぐりとぐら」がおきにいらいます。
ほんのなかにでてるフワフワのカ
ステラをつくってみたいの。パパに
ケーキをつくってあげたいことがある
よ。

(すずき ゆづき)



① やさいをきるおてつだいがすき。だ
いこんをきって、なべにいれてたべ
たんだよ。おかあさんとおばあちゃん
といっしょにきるのがうれし
んだ。

② くるまがいっぱいのつるぎつるぎ
があるんだ。いろいろなメーカーのくる
まがついていてたのしいんだよ。

(まかべ てつぺい)

① ぐんはんをつくるおてつだいは、たまね
ぎのかわをむいてカレーをつくら
んだ。かぞくみんなでたべたよ。

② おうちのちかくでクワガタをとって
ずかんをよむのがすき。たくさん
かまたんだよ。クワガタはあまが
かっこいいよ。

(ほんだ かえで)

① おやさをあらうのがすき。あわだて
てゴゴシしておやさがピカピカに
なるとうれしくなるの。

② 『ディンクル・セボンスター』って
いうほうせきのおはなし。アメジス
トやスカレットルビーがでてくる
んだ。ほうせきのなかに、ようせい
がはいっているところがすきな。
(てらだて みお)

① くだものをきるおてつだいは、かぞく
みんなでデザートにたべるの。ヨー
グルトにきつたイチゴをいれてたべ
るのがすきな。

② ポケモンのほん。ポケモンのしゅる
いがたくさんついているんだ。しん
かすところかわるかがかいてあつ
ておもしろいよ。

(たかはし ななこ)



① おうちのおしよくじまえにテーブル
をふきます。ふくときれいななつ
て、おいしいごはんがたべられる
よ。

② パンがだいすきだから「カラスのパ
ンやさん」がだいすきです。うさぎ
パンとこねパンがたべてみたい
な。

(かわはら ゆい)

① たべたあとのおやさをあらうてい
るよ。ピカピカになるともちよ
うれしいんだ。

② 「かいちゅうき」です。しゃしんの
なかのエイがよそうで、かっこい
いんだ。えんそくのすいぞくかん
でもおよいでいるのをみたよ。

(やまうち そうた)

① かぞくのふくをほすの。ハンガーと
せんたくばさみでとめるところがた
のしいんだ。

② 「パンめしあがれ」ほんものみたい
なパンがたくさんついているの。ハ
ムのパンがいちばんすき。しゃしん
みたいだけどえなんだよ。とつても
おいしそうなんだ。

(やまがた かえで)

① せんたくものをたたむおてつだいは、
ほくともうとのせんたくものをき
れいにたたむのがすきな。

② ちきゅうのほんとしまじろうのほ
ん。ちきゅうがどうやってできたの
かがわかるんだ。しまじろうは、い
もうともすき。おかあさんがいっ
しょによんでくれるんだよ。

(やの たいち)

① おにいちゃんのおべんきょうのお
てつだいをしているの。きょうかしよ
をおんどくするおてつだいがいちば
んすきな。

② おうちでムシのずかんをよむのがす
きな。バッタとカブトムシがおき
にいらなんだ。

(やつ ゆうな)



幼稚園



うんどうかい

「いっしょに
がんばろうね」

「こっちはよ〜」

「いっぴい
はいったー♪」

良い天気恵まれた十月一日、幼稚園の運
動会が行われました。年少・満三歳児は初め
の運動会にドキドキしながらも、堂々と
ゴールまで走り切り、年中児は大玉ころがし
や玉入れなど、友達と力を合わせて競技に挑
みました。幼稚園生活最後の運動会となつた
年長児は自分たちの競技に加え、会場内のア
ナウンスや道具の準備や片付け、年下のお友
達の案内、ゴールテープや等賞旗への誘導、開
会式・閉会式での宣言など、五つの係に分か
れ、それぞれが主体となつて運営にあたりました。係のおしごと中、自分の役割を確認しな
がら、お友達と声を掛け合い、より良いもの
にしようとする姿に、年長児の成長した姿が
見られました。たくさんの方の応援につつまれた
運動会を終えた子ども達からは達成感に満ち
た笑顔と自信が溢れていました。

おしごと紹介

その30

重量板

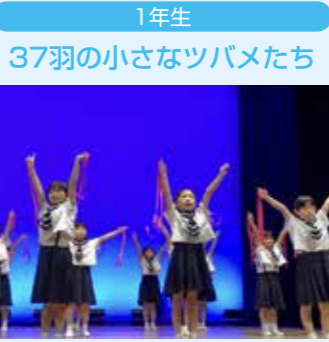
「どっちが重いかな?」重量板は手作りのめ
かくしを使う子ども達の大好きなおしごとの
一つです。子ども達にとつてめかくしもや
つてみたいという好奇心で一杯で、自分の身
体の感覚器官を研ぎ澄まし、重量感覚の活動
を楽しむ様子が見られます。箱の中には木製の
板が入っており、それぞれくるみ二十四g・藤
十八g・樺十二gの木から出来ています。先生
と一緒に重い板から始め、ゆっくり両
手を動かしながら計るのです。最初は目を開
けて行ない、慣れてきたら目をつぶり、最後
めかくしを使います。この少しずつ難しくな
る事も魅力の一つで、「もっと難しくしてみ
たい。」「ひとりでやってみよう」と色々な事
に挑戦している毎日です。大人でも難しい僅か
六gの差の中からの板にも挑戦し、見えな
いものへの探求心も広がっていきます。

めかくしすると
むずかしいよ

発表会

十月十五日、今年度も発表会がレジナパチスホールで行われました。一年生の元気な開会の言葉に始まり、六年生の凛とした閉会の言葉で閉幕しました。

各学年の発表は次の通りです。



1年生
37羽の小さなツバメたち



2年生
flag and umbrella



3年生
ちいちゃんのかげおくり



4年生
祭



5年生
進化



6年生
《約束の場所》
～大震災に生まれた私たち～

1年生 感想より

がんばったことは、かいかいのことばです。わたしは、「れい。」とさいしゅにいます。おうちで学校の中みたい大きいこえではなすようにしました。本ほんでは大きなこえでいうことができ、うれしかったです。リボンをつけておどっているときも、ドキドキしていたけどきゅうにたのしい気持ちになりました。(きんせとせなへり)

さんとおにいちゃんが見えました。おとうさんが手をぶっていました。わたしはうれしい気持ちになりました。(せしゆつぎ)

わたたら、おかあさんとおとうさんに「がんばったね。すくじゅうすだったよ。」と聞いてもらって、うれしかったです。(やまひな)

あさから、すつとときどきしてたら、おかあさんが「だじょうぶだよ。」といてくれました。そうれんしゅうより本ほんのほつが、おきゃくさんの手びょうして、リズムのうってえがおどおどしました。しゅわのころは、おきゃくさんにメッセージがどけられたかなとおもいました。たくさんはくしゅをしてもらって、うれしかったです。(まじたりん)

だんすは、とめるところはちゃんとめて、つづいてはリズムのうって、しゅまがわなないで、ころをこめてじゅうすにおどれました。ツバメになりました。おどれてうれしかったです。わたしは、さいごのとびたつころがすきです。(わたなへめい)

4年生 加美町自然体験

加美町に着いたら、まず、えだ豆をえだからもぎ取をしました。とてもかんたんで楽しかったです。でも、私の手に虫がついてびっくりしました。(阿部千鶴)

四年生最後の加美町はとっても楽しかったです。これからは、班でもまり達成できなかった「協力」を生活に生かしていきたいと話合いました。加美町の「宝物」自然は、これからの大切な宝物です。(鈴木彩世)

加美町から学校に帰るときは、すごく悲しかったです。けど、婦人部の方が手をぶってくれたので、勇気が出てきました。今度、家族全員で加美町に行ってみみたいです。(高山ふあり)

大豆を作っている農家の人の話を聞くと、前は、お米を育てていたけれど、お米だけでは生活できないから大豆を育て始めたそうです。食へる人が少なくなっているからかなと思いました。(千葉優梨愛)

この体験で一番いんしゅにのこったのは、昔の小学校です。木のしつ感がすてきで、たて物の前に立ててある柱二本の上に、文化財のトラの



置き物があり、金色で、ししまいのおうでした。(盛結葵)

あいにくの雨で、枝豆を枝からはすず作業しかできませんでしたが、とても作業がおもしろいなと思いました。(熊谷心優)

わたしがいんしゅにのこっている所は、えのき工場です。えのき工場では、えのきが寒さにたえられるように育てているそうです。わたしは、加美町の方々がお話ししてくれたことを生かして、じゅ業やいろいろな体験をしていきたいです。(工藤陽菜)

厚食の後に宝探しの発表をしました。少しきんちょうしましたが上手に発表できたと思います。加美町で自然の大切さや協力を知りました。(大童舞)

今年二回目の加美町自然体験では、農業体験をさせていただきました。また、加美町の集落を探検しました。台風などの災害で大変でも、命を守るのと同じくらい一生けん命豆を育てていることを学ぶことができました。(樋浦綾音)

私たち一クラスの目標は、「1時間を守り、冷静に行動しましょう、あいさつや返事も忘れずに。」です。地図作りで初めに行った所は大豆畑でした。昔はお米を育てていたそうなので、人口がへってきたため、大豆を育てることにしたということを書きました。(横尾優愛子)

チアダンスクラブ

現在、一年生九名、二年生十六名、三年生十一名、四年生八名、五年生二名、六年生六名の合計五十名で活動しています。

今年度は二度の大きなステージを終えました。一度目は、六月末に楽天命パーク宮城で行われた、「イーグルスガールデー」。二度目は、十月に寺岡市民センターで行われた、「寺岡・紫山市民文化祭」。こちらは、三、五、六年生の出演でしたが、会場を訪れた方々から、自然と手拍子が沸き起こるような盛り上がり、メンバーの笑顔も一層輝いていました。

どちらのステージにも参加した三年生に感想を聞くと、
「一度目は踊りに少し集中してしまっただけ、二度目は笑顔が出せなかつたのですが、二度目は笑顔を出さなきゃと思つて踊ったら、心から笑顔が出せて、とても自分でも楽しかったですし、お客さんも楽しんでくれたと思うので、自分でもチアをやっていたよかったです。と思いました。(北林愛莉さん)」
「一度目の方は、先生たちがいろいろ教えてくれて、私は自信がもて



て、笑顔で踊れました。二度目の方は、市民センターの方々が、終わってからも、飲み物をくださったりしたので、今度はわたしたちからお礼をしたいです。(新宮紗知子さん)

「みんなでジャンプのタイミングを合わせられて、よかったです。舞台下だったので、観客の方にぶつかりそうだったので、大変でした。でも、結果は大成功でした。家に帰ったら、いっぱいほめられました。次は舞台上に立ちたいです。(山下佳紀さん)」
「にもますます期待がもてますね。」

第67回中・高学園祭 九月三日～四日

学園に溢れた光

高校学園祭実行委員長
高校三年 小竹 真奈

今年度の学園祭は「Toy Box」というテーマのもと行われました。このテーマには、おもちゃ箱のようにワクワクした好奇心を詰め込んだ学園祭にしたいという思いが込められました。また今年度は、感染症対策を徹底した上で三年振りには保護者などの関係者のみではありませんが、一般公開を行うことができ、学園は笑顔で活気に溢れていました。外に設置された受付用テントや来客用スリッパなど、ごく普通の準備かもしれませんが、それだけでも学園祭にお客様をお迎えできる喜びを感じられました。



学園祭一日目の午前中の生徒と先生方だけで行われる企画、SPホワイ トフェスティバルでは、サイリウム販売を行い、声援を送れない状況の中でも会場は大いに盛り上がりました。私はステージから見えた、会場に溢れる色とりどりの光に支えられました。

二日間を通じて、制限がある中でもできるおもてなしを最大限行い、お客様をワクワクが詰まった学園祭にお招きすることができても嬉しかったです。何事にも全力で楽しむ面白さを感じていたと思います。学園祭に実行委員長として携わることができたことに心から感謝するとともに、学園祭のために関わってくださった多くの方々に感謝申し上げます。本当にありがとうございました！

支え合いの気持ち

高校生徒会長 高校三年 熱海 由伊



今年の学園祭では、当日の売り上げ金の一部と応援メッセージの旗をウクライナの避難民受け入れを行なっているポーランドのサンスター日本語学校へ寄付しました。サンスター日本語学校とは東日本大震災の時に励ましのお手紙を送ってくださったのをきっかけに交流が続いており、現在も白百合ファミリーの一員となっています。サンスター日本語学校の皆様を支えてくださったように、今度は私たちが少しでも助けになりたいと思います。寄付先を決定しました。

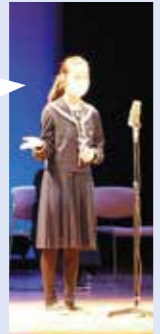
ポーランドにあるサンスター日本語学校では現在、ロシアからの侵襲により避難を余儀なくされたウクライナの方のためにボランティア活動を行なっています。寄付にあたり、校長である兵頭博先生にインタビューを行なったところ、家族を失った方や私達と同世代の方、母国に戻りたくても戻れない方々の苦しい現状を知りました。日本にいる私達にとっては身近に感じにくい事実ではありますが、常に関心を向け続け、私たちができる支援を行うと共に、愛で溢れた平和な世界の実現を祈り続けることを大切にしていきたいと強く感じました。

中学1年 英語暗唱大会 十一月九日

私は、初めての英語暗唱大会でとても緊張しましたが、練習の通りに発表することができ、とても嬉しかったです。さらに、良い結果を出すことができたので感謝でいっぱいです。私たちのペアは陽和さんが誘ってくれたことによってできたペアです。誘われなかったらこの大会に出ていなかったかもしれません。来年も出場することができたらよい結果を出したいです。



私は今回の暗唱大会に向けて、発音やイントネーション、強く読む所、抑揚など細かい所までたくさん練習をしました。ペアの二人でもジェスチャーなど入念に確認して本番に臨むことができたと思います。本番では「絶対に勝ちたい」と思っていたのでとても緊張しましたが、自分なりにこれまでの練習の成果を十分に発揮することができたと思います。今回の経験を英語の学習だけでなく、今後さまざまな場面で生かしていきたいです。



初めての英語暗唱大会で不安が多くありましたが、毎日一緒に練習してくれた友達や先生方のおかげで、本番では自分らしく、そして楽しく発表することができました。練習では、お手本を聞き強調したい部分や速さに気をつけ、苦しい発音を先生に教えていただきながら何度も練習しました。個人の部ではありましたが、常に誰かに支えられ、このような貴重な経験をすることが出来たことに感謝致します。今後も英語を楽しみながら学んでいきたいです。

中学2年 Happy Project 十一月九日

中学二年 諸橋 凛

前期のSPの授業において、みんな一人一人紙コップを使って、種からひまわりを育てるというHappy Projectに取り組みました。私はSP係だったので、みんなのひまわりの写真を撮っていました。ひまわりがどんな気候にも負けず、毎日成長していく姿を見て、植物の力強さ、そして、命の大切さを学ぶことができました。夏休みが終わった後には、同じくひまわりの種が植えられていたバス停の裏が美しいひまわり畑になっていて、とても温かな気持ちになりました。花は美しく、人の心を癒やし、幸せな気持ちにしてくれます。これから家の庭でも植物を新しく植え、心豊かな人になりたいと思います。

Happy Project



中学3年 修学旅行 in 道南 七月五日～八日

中学三年 坂口 絢音

トランプスチヌ修道院では、旅人の聖堂の温かいぬくもりが心に残られてとても清らかな気持ちになりました。アイヌ文化体験ではアイヌ文様の刺繍をしたり、アニメスム(万物に霊が宿るの世界観を持つアイヌの人々についてお話を聞いた)りして深い学びの時間を過ごすことが出来ました。アイヌ文化の弾圧の歴史には胸が痛みました。差別せず、文化を守り、受け継ぐことが大切であると学びました。元町カトリック教会では、祭壇や細やかな装飾の美しさに感動し、祈りを捧げることができても幸せな気持ちになりました。外国人墓地にはスール・マリ・オネジムさんが眠っておられました。白百合の礎を築き、日本のために奉仕してくださったマ・スール方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。この三日間、友達との絆を深め、実り多い時間を楽しく過ごすことが出来ました。これからも神の声を耳を傾け、この学園で学べることに感謝しながら歩んでいきたいと思えます。



9/28水 高円宮杯 第74回宮城県中学校英語弁論暗唱大会 宮城県大会

放課後、練習に付き合ってくれた先生方、エールを送ってくれた友人、そして、どんな時でも背中を押してくれた家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

暗唱の部 奨励賞



この度、初めて学校代表として英語暗唱大会に出場し嬉しい気持ちでいっぱいです。出場者の皆さんはそれぞれが自分の表現方法を持っていて、スピーチを聞きながら新しい発見が出来たことも嬉しい出来事でした。先生から、発音から一番大切なメッセージをどのように表現するかなど細かい部分まで丁寧に教えて頂きました。校内英語暗唱大会、仙台市大会、県大会での発表を通して、英語の楽しさや魅力は世界に向けて自分の言葉で発信することができることにありました。私の暗唱の題は「changing the world」というセヴァン・スズキさんの環境保全に関するスピーチでした。練習を繰り返すうちに自分にできることは何かを深く考えるきっかけになりました。

こうした貴重な経験を機に、改めて英語の学習を頑張り、自分の宝物にしたいと思いました。 中学3年 大中 ひかり

弁論の部 優良賞



学校での英語暗唱大会が終わってすぐ、先生と弁論のテーマについて考えました。自分の経験をもとに伝えられるメッセージや「古川亜見」という人だからこそ伝えられるテーマを考えることは難しかったです。しかし先生とブレインストーミングをしているうちにどんどんアイデアが思い浮かび最終的にはとても良い原稿が出来たと思います。「who am I?」というタイトルもスピーチの最後にジョン・レノンの「imagine」を歌ったことも全て含めて良いスピーチが出来たと思います。ジェスチャーが上手くできなくて悩んだ時期もありましたが協力してくださった先生方にはとても感謝しています。また、小さいころからステージで発表することが大好きだったのでこの機会に感謝しています。スピーチで歌った歌詞にもあるように、国籍や性別、年齢に関係なく世界が一つになればいいなと思います。これからも自分だからこそ伝えられるメッセージを広めていきたいです。

中学3年 古川 亜見

～ 実習を終えて ～



東北福祉大学大学院 (公認心理師) 石原 みなみ

母校で、大学院だけでは学ぶことができない貴重な経験をさせていただきました。また、図書室で生徒とお話をする機会をいただいた際に、生徒が話しやすい雰囲気を作ることに難しさも感じました。今後、実習で教えていただいた事をもとに、学校に馴染むことの難しさを感じていたり、目標に向かって頑張っている中で置いて悩みを抱えている生徒の心に寄り添うことができるよう、研鑽を重ねて参りたいと思います。温かく迎えてくださった皆様に感謝申し上げます。

中学校高校とお世話になった仙台白百合学園に実習生としてこれたことをとても嬉しく思います。緊張の中でのスタートでしたが、温かくて親身な先生方や明るくて優しい生徒たちに支えられて3週間を過ごすことができました。授業をしている中で思うようにいかないことも多々ありましたが、その分学びも多くありました。また、この学校で生徒と共に学び続けることの大切さや教師の責任についてより実感しました。ここでの学びを糧に大学に戻った後も学び続けていきたいと思えます。3週間本当にありがとうございました。



東北学院大学 (英語) 片倉 未来

平和を奏でるハーモニ



2022年6月26日カトリック元寺小路教会においてギター部と高校3年有志でウクライナ支援のための募金活動とチャリティーコンサートをおこないました。チャリティーコンサートでは聖歌である「キリストの平和」と「アーメンハレルヤ」の2曲をギターで演奏しました。この2曲の歌詞には「平和」を願う意味が込められています。全ての人が兄弟や友達のように助け合い愛し合えるような世界の実現を願い、心を込めて演奏できたと感じています。募金活動では、多くの方からとてもあたたかいご支援をいただくことができました。教会には仙台白百合学園の卒業生の方や退職された先生方などこの学園にゆかりのある方も多くいらしてくださったので「その制服懐かしいわ」「また教会に来てね」とたくさんのお言葉をかけていただきました。一緒に活動をした高3メンバー、手厚いサポートをしてくださった先生方、そして教会にいらしてくださった全ての方に深く感謝申し上げます。 高校3年 村山 叶恋

修養会 十月十二日

中学生の感想から

中学一年 保 美羽

初めての修養会でとても緊張したけれど、「愛」というテーマで自分自身を振り返ることができたので良かったと思う。愛には、イエス様が大切にしている「隣人への愛」「人への赦し」「平和の実現」という様々な形があり、「愛」と愛が返ってくる」ということを知った。それらは、人間関係や一人一人の気持ちを育てていく上で、とても大切なことだと思つた。また、「愛することは両方通行」という言葉から、相手と理解し合うことが必要であり、簡単に見えてとても難しいことだと思つた。また、日々の生活において、どのように「愛」や「感謝」を伝えるかということが重要で、毎日のあいさつを大切に、感謝の心を持って一日を終えるようにしたい。



中学1年「愛」高松 誠先生(佐久大学 准教授)

この修養会を通して、自分がこれから何を大切に、頑張っていくのかを再確認することができた。相手を思い、強い気持ちを持って何事にも挑戦し続けていきたい。

中学二年 佐藤 ちひろ

今年の修養会のテーマは「愛」でした。今回の修養会で学んだことが二つあります。

一つ目は「愛」についてです。愛とは、相手や対象を慈しみ大切にしたいという思いや、自分の心を解放する、神様からいただいた大切でかけがえのない命など、たくさん意味があることがわかりました。また、「誰かに愛された自分と誰かを愛したい自分」がいることにも気がつくしました。

二つ目は、「どうせ無理」から「だってどうしてみたら」で世界が変わることです。「どうせ無理」など、相手を否定することは、人生で一番言っていない言葉だと知りました。自分に足りないことを認めて、誰かに助けを求め、「どうせ無理」が増えます。私は、たくさんの人々を愛し、愛されて生きたい、という思いが強まりました。

中学三年 千葉 絢菜

今日の修養会を通して「愛とは何か」というテーマについて深く考えました。第1講話では自分とは70億人のうちたった一人の存在であり、自分の中で大切にしていること、頑張っていることなどを大切に生きていくことが重要だということに響きました。神様から頂いた大切な命を大事にすることが自分への良いモチベーションにもつながると考えました。

第2講話では「ルベ神父の言で日本

高校生

高校生の感想から

高校一年 遠藤 愛佳

聖書の言葉と、井深八重さんの生涯から人生を喜びにあふれるものにするにはどうすれば良いかを知ることが出来ました。宗教の授業で学んでいた聖書の話を背景を知り、イエス様は一人一人に目を注ぎ、力ある行い、言葉、思いやりのまなざしで近づいていたところから、その病の方たちのために生涯を捧げ、喜びを見出したことに驚きました。微税金ザアカイはイエス様によって回心し、井深八重さんはハンセン病を経て自分の道を決意したという事象に印象に残りました。私にはまだその



中学2・3年「愛」清水 勝幸先生

高校生の感想から

高校一年 遠藤 愛佳

聖書の言葉と、井深八重さんの生涯から人生を喜びにあふれるものにするにはどうすれば良いかを知ることが出来ました。宗教の授業で学んでいた聖書の話を背景を知り、イエス様は一人一人に目を注ぎ、力ある行い、言葉、思いやりのまなざしで近づいていたところから、その病の方たちのために生涯を捧げ、喜びを見出したことに驚きました。微税金ザアカイはイエス様によって回心し、井深八重さんはハンセン病を経て自分の道を決意したという事象に印象に残りました。私にはまだその

ような経験はありませんが、自分だけのできる何かを見つける心の準備をしておこうと思つています。そしてこれまでの人との会話や自分の行動、生活習慣などを改めようと思つています。回心という言葉の意味のメタノイアには向き直るという意味もあります。今まで目を背けてきた事、行動などを心に留め、自分自身と向き合っていきたいです。



高校1年「よろこび」高山貞美 神父(白百合女子大学 学長)

高校二年 馬渡 弥々子

今回初めて司教様からお話を聞きました。東日本大震災の体験談では、日本滞在中に被災された外国人の方のお話がありました。外国人の被災者もいるはずなのに、その存在に初めて気がつき、自分の視野の狭さを感じました。自分も被災して大変であっても、困難な生活をしている人たちの存在に気がつける人になりたいです。

震災を体験していない人にも知ってもらう時、マスコミが伝える情報よりも当事者の体験を話す方が相手の心に強く届けることができるのかなと考えました。忘れてはいけないことは経験した人の口から伝えていくことが必要なのだと思います。

平和とは一人一人がその存在を大切にされ、平等に扱われることだと思つました。これからの出会いの中で自分が成長できるのか、良い出会いもそうでない

第70回 東北六県中学校英語暗唱・高等学校英語弁論大会

第一部 第三位



高校1年 ウィルソン 永美

今回の弁論大会は、私に貴重な経験を与えてくれました。私は日本人のハーフに対する偏見や扱い、それらを少しでも多くの人に知って欲しい思いからこの大会に参加することを決意しました。参加者のほとんどは、私よりも年上で、中には海外在住経験者もいて、レベルの高い大会でした。その中で、私は勝つことよりも楽しむことに専念できました。その理由はやはり先生方のサポートと見守ってくれた友達のお陰だと思つています。

今回の弁論大会で私が話した内容は「ハーフ」についてです。私は小さい頃よく皮肉を言われてきました。「ハーフでよかったね。私たちとは違って」など、私と他のみんなを区別する様なこともたくさん言われました。でも、今となっては貴重な体験でした。なぜなら、こうして弁論大会に出るきっかけもくれましたし、大会で友達もできたのですから。

私は来年もこの弁論大会に参加したいと思つていますし、自分の考えを発表する他の大会にも挑戦したいと思つています。みなさんも来年是非参加してみてください。何かしらの経験を得られるはずです。

英語検定準1級 合格



【上段左から】沼田 結衣(高3) 金子 瑠愛(高3) 青木 理紗子(高3) 斉藤 実優(高3) 大塚 紗希(高3) 【下段左から】古川 亜見(中3) 小池 希菜(高3) 勝矢 陽菜(高3)

新人大会 県大会出場

中・高校 卓球部



右:町田 来夏(高1) 左:遠藤 愛佳(高1)

高校 ソフトテニス部

左:粥川 未央(高2) 右:石橋 菜花(高1)



中学 ソフトテニス部

左:高橋 凛桜(中1) 右:齋藤 ひまり(中1)



高校3年「愛」竹内修一 神父(上智大学 教授)

今回は「愛」をテーマに竹内修一神父様にお話ししていただき、「愛」とは感情ではなく、具体的な行為によって示されるものだと学びました。聖書に「隣人を自分のように愛しなさい」とあります。自分の弱さや欠点を悲観的に捉えず、ありのままの自分を受け入れ、愛すること自体難しいことですが、身近な人だけでなくあらゆる人の隣人となり、分け隔てなく愛を持って接することは生きていく上でとても大切な教えたと感じました。特に現在、世界各地で紛争が絶えない状況であるため、平和の実現のためにも相互理解愛について考えていく必要があると考えます。今回最後の修養会となりましたが、聖書の言葉は自分の生き方を見直すきっかけを与え、今を生きる私たちの心を豊かにしてくれるものだと感じます。今後もこの学園で学んだ素敵な精神を大切にしていきたいです。



高校2年「平和」ガクタン・エドガル 司教(カトリック仙台教区)

高校三年 川合 杏奈

出会いも得られるものを大切に、周りに平和をつくるようにしていきたいです。